

## 「三橋ノート」の画像データベース化

Image Database of "Mitsuhashi Note ", a Bibliography of Japanese Insects

安田耕司・吉松慎一・中谷至伸\*

Koji Yasuda, Shin-ichi Yoshimatsu and Yukinobu Nakatani

## 背景と目的

農業環境技術研究所の昆虫標本館には、昆虫研究家の間で「三橋（みつはし）ノート」と呼ばれていた昆虫文献目録が保管されている。この目録は明治時代から昭和 20 年代後半までに出版された日本の昆虫関連図書や雑誌等の報文中に現れたすべての昆虫の学名と和名を、その文献情報とともに、目、科、属、種などの分類群ごとに整理したものである。日本における明治以来の昆虫情報の出典がほぼ網羅されており、日本産の昆虫であれば、その虫に関する情報が何という本の何巻何頁に記述されているかが分かるようになっている。

この目録は当研究所の前身である農事試験場に嘱託として籍を置かれたこともある故三橋信治氏（1878 ~ 1952）がその半生をかけて作成されたものであり、当時の昆虫研究者の間では貴重な文献目録として広く知られていた。かつては、これを見せてもらうために東京の三橋邸に昆虫学者や同好の士が多数集まっていたらしい。三橋氏が亡くなられた後、農業技術研究所昆虫科に寄贈され、今日のような便利なデータベースが整っていない時代にあって、有用な情報源として大いに利用されたと聞く。しかしながら、その後時代を経て情報の新鮮味が薄れるにつれ、若い研究者の中にはこの目録の存在すら知らない人が多くなった。

この目録の情報は確かに古いものであり、今となってはあまり意味を持たないのではないかと思われるかもしれない。しかし古い情報であっても必要なときがあり、また古いからこそ意味がある場合もある。かつては盛んに研究されていたが最近ではほとんど研究されていない虫について知りたいとき、あるいは、何十年ぶりかで大発生した普段あまり目立たない虫について知りたいときなど、これらの虫の情報は CAB や BIOSIS などの最近のデータベースでは得られないことが多い。また、生物多様性に関心があれば、有名無名の様々な昆虫がかつてどのような状況で生息していたかを知ることは、現在の生物多様性を評価する上で重要なことである。そのようなとき、古い文献や資料の中から必要な情報を探そうとしても、対象となる文献・資料の量は膨大であり、目的の情報を迅速に手に入れることは困難であろう。長年にわたって蓄積された大量の情報を有効に活用するためには、それらの情報を整理した目録等の二次資料は不可欠である。

三橋ノートのデータベース化は以上のような観点から今日的な意味においても有益である。量が膨大であるため、手書きのノートからひとつひとつの字を拾って入力することは不可能である。そこで各頁を画像情報の形でデータベース化することとした。とはいえ 480 冊（推定

---

\* 農業環境インベントリーセンター 昆虫分類研究室

Insect Systematics Laboratory, Natural Resources Inventory Center

インベントリー, 第2号, p.30-32 (2003)

50,000 頁) に及ぶ資料をデータベース化するには多大の時間と労力が必要であるため、今後数年にわたって分類群ごとに順次作業を進める予定である。今回はまず手始めとして「トンボ目」(約 1500 頁) を対象とし、簡単な検索機能を付加したデータベースを作成した。

内容・特徴

三橋ノートは、上述したように、ある分類群(目、科、属、種など)が何という本の何巻何頁に掲載されているかを日本産昆虫全種について逐一書き留めたものである。図1には最もよく知られたトンボの1種である「シオカラトンボ」の第1頁を示した。

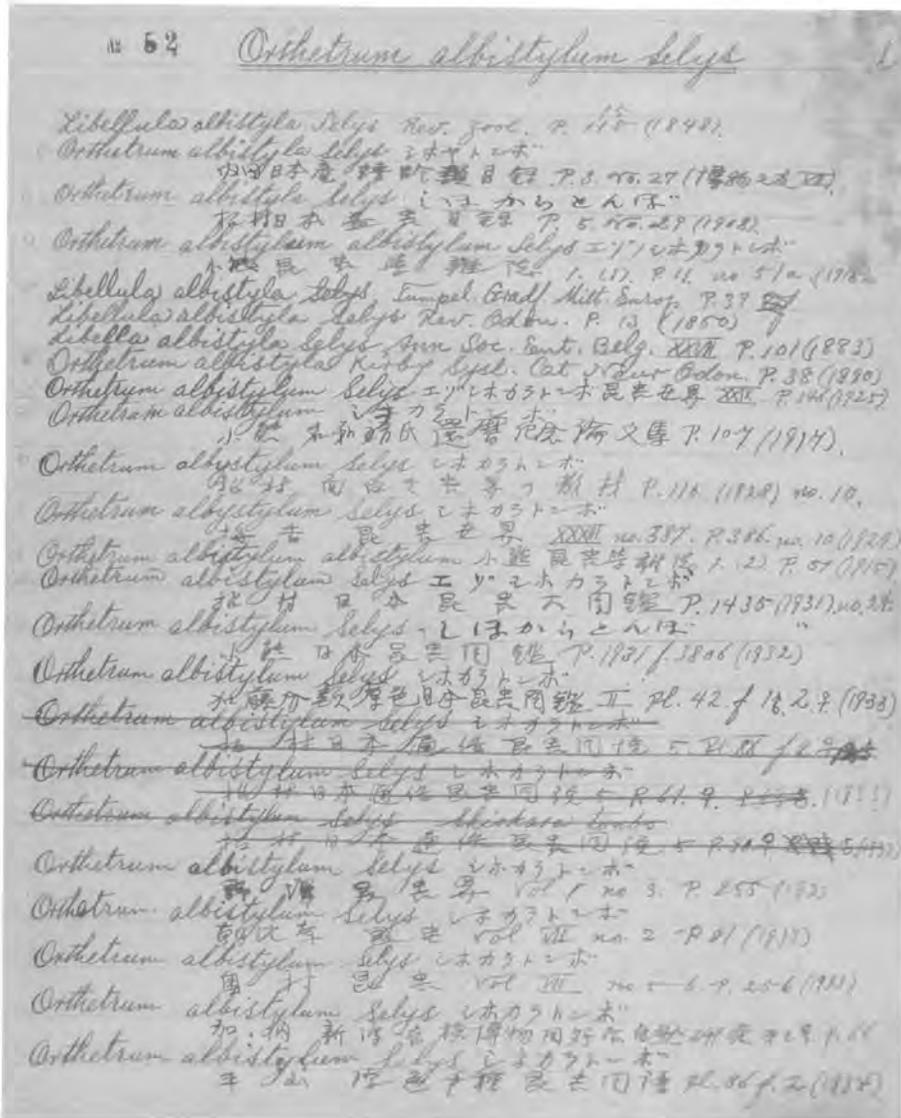


図1 「シオカラトンボ」に関する第1頁

図1の上位数行の内容を説明すると以下のようになる。左側はノート記載内容、右側 [ ]内はその説明である。

- Orthetrum albistylum Selys [ (頁タイトル行) 属名/ 種小名/ 命名者 ]
- Libellula albistyla Selys Rev. Zool. P.15 (1848) [ 属名/ 種小名/ 命名者/ 書名/ 頁/ (年) ]
- Orthetrum albistylum Selys シホヤトンボ [ 属名/ 種小名/ 命名者/ 和名 ]

内田 日本産蜻蛉類目録 P.3. No.27 (博物之友 VII) [著者/ 論題/ 頁/ 号/ (誌名, 巻)]

*Orthetrum albistylum* Selys しほからとんぼ [属名/ 種小名/ 命名者/ 和名]

松村 日本益虫目録 P.5. No.29 (1908) [著者/ 書名/ 頁/ 号/ (年)]

以上のように、種に関する頁では、その種が文献で記述された際の学名(属名, 種小名), 命名者名と和名がまず記され, 続いて著者名, 書名(もしくは雑誌名, 時に論題), 巻, 号, 頁, 図版, 図, 発行年等の情報が続く。それぞれの項目は多少入れ替わったり抜けたりする場合もあるが, 概ねこの形式で書かれている。また, 属や科, 目についても同様の方法で書誌情報が整理されている。ただし記事の内容等に関する情報はなく, その記事が詳細な学術論文なのか単なる採集記録なのかは判らない。

## 機能

データベースの使用に当たって目的の頁を容易に見つけ出せるように簡単な検索システムを付け加えた。例えば, 「シオカラトンボ」の情報を得たいとき, 検索キーワードとして「シオカラトンボ」と入力すると(図2左), その語を含む頁がリスト表示され(図2右), リスト中のどれかの頁をクリックするとその頁の画像が現れる(図1)。またキーワードは, 図示した頁の場合にはシオカラトンボの他に, シホカラトンボ, シホヤトンボ, エゾシホカラトンボ等の和名およびその異名や旧仮名遣いと *Orthetrum*, *Libellula*, *albistylum* 等の属名, 種小名とそれらのシノニム(同義異名)も登録してあるので, それらを用いても検索することもできる。

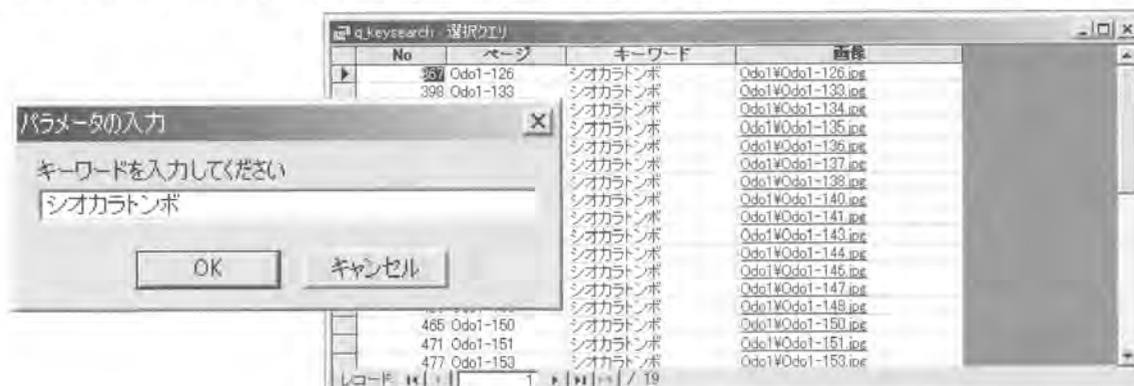


図2 キーワードの入力と関連頁の表示

## 利用法

近日中に, 農業環境インベントリーセンター 昆虫分類研究室のホームページ(<http://cse.niaes.affrc.go.jp/nakatany/>)で公開予定である。

## 問合せ先

農業環境インベントリーセンター 昆虫分類研究室 安田耕司

電話 : 029-838-8354, E-mail : [kyasuda@niaes.affrc.go.jp](mailto:kyasuda@niaes.affrc.go.jp)

## 参考文献

- 1) 石井悌(1953) : 三橋信治氏を憶う。新昆虫 6(6), 4-5
- 2) 河田党(1953) : 三橋先生の逝去をおもう。応用昆虫 8(4), 165-166
- 3) 長谷川仁(1967) : 三橋信治。昆虫 35(3)補遺, 81-82